

第19回「みらいっこまつり」開催報告

今年度も、平成30年12月14日(金)、15日(土)の両日、みらいっこまつりを無事開催することができました。共同機構の各団体の皆様には、お忙しい中、様々な楽しい催しを企画、実施していただき、本当にありがとうございました。

第1研修室のイベントは、歌や楽器、先生方の劇や踊り、仲よし遊びに読み聞かせなど会場一杯に集まった親子がふれあいながら笑顔いっぱい楽しみました。また、お部屋での催しも、多くの方にご参加いただきました。

2日間合わせて4000名以上の親子が来場され盛況に終えることができました。ご協力いただきありがとうございました。

 みらいっこわくわくコンサート
 (公社)京都市私立幼稚園協会

 わくわくステージみんなあつまれ
 京都市保育士会

 エアマットであそぼう
 (公社)京都市保育園連盟

 赤ちゃんほっこりコーナー
 京都市営保育所長会


みんななかよしお楽しみ会 京都市立幼稚園長会

- ◆ お茶席体験コーナー 竹間自治連合会
- ◆ 似顔絵コーナー
京都市立銅駝美術工芸高等学校
- ◆ おもちゃ病院 京都SKYおもちゃ病院
- ◆ オルゴール演奏会 キコーオルゴール
- ◆ 人形劇・タオル劇場
京都女子大学人形劇団たんぽぽ
- ◆ しかけ紙芝居・しかけ布芝居の上演
京都造形芸術大学
- ◆ みんなでフラダンス 楽'ohana
- ◆ 親子でほっこりふれあいあそび
京都市営保育所地域子育て支援拠点担当
- ◆ 親子で楽しもう♪
NPO法人 京都子育てネットワーク

その他の催しでも楽しんでいただきました。



主体的に関わる・試行錯誤する・考えるための環境とは

講師 奥山 登美子 元関西国際大学教授

幼児期の教育は「環境を通して行うものである」という文言は平成元年の幼稚園教育要領で謳われました。今回の改訂（改定）においても、引き続き大切であると言われていています。

環境には「もの」「空間」「人」などの視点が重要です。

「もの」については、なぜそれがそこに置いてあるのか、なぜその数か、なぜその材質か、なぜその大きさか、保育室の中にあるもの全てについて言うことができますか。子どもにとっての環境であるということは、子どもが使いたい、やりたい、見たい、手にしたい、それで遊びたいと思って初めて環境と言えます。子どもにとって必要な、保育者から言えば学びが保障できる環境となっていくための「もの」の準備の仕方があるはずで。

「空間」には広さや子どもたちが過ごしやすい温度や湿度などについても意味があります。

「人」は環境として大きな要素です。保育・教育は集団で行うものであり、保育者がそれを意識して育てることが必要です。保育者の指導で分からせるのではなく、友達と一緒にいるから様々なことに自ら気づき、感じ取り、頑張ってみようとし、次も頑張ろうと思えるのです。

乳幼児期の子どもの育ちを保障し、きちんと教育をしようと思えば、必ず意図と計画が必要です。そのためには記録をとって子どもの実態と発達をつかみ、そこから解釈をして、明日はどんな学びを保障するのか、その学びを保障するための環境構成や援助を考えることが必須です。それがプロとしての保育者です。

保育者としての資質向上につなげるためには、子ども一人ひとりの理解はもちろんのこと、保育者自身の良さやまずさを理解することも大事です。良い関わりが自分で意識できたということは引き出しに入ったということです。それを自分だけのものにしてしまわず、周りと共に共有し、また他の方の知見や意見を聞くことで保育の幅が広がります。園（所）を越えて集い語り合うような機会を大切に、明日の保育に生かしてください。

講義の詳細は、要録ページをご覧ください。 [要録ページへ](#)



DVDを使った研修の報告です！

今年度も、共同機構研修会のDVDを使って沢山の保育園(所)・幼稚園・認定こども園の先生方が園内研修に取り組んでおられます。その研修の学びを報告します。

こどもみらい館では、平成16年度からの共同機構研修会で講師の了承を得られた講義DVDの貸し出しをしています。職場研修での利用はもちろん、職場の有志の仲間が集まって、また1人でじっくりと勉強してみませんか。詳しくはみらい館HPの「[研修・研究](#)」→「[共同機構研修会](#)」をご覧ください。

貸出ビデオ名:平成30年度実施研修「保育における「教育の働き」」講師:鯨岡 峻さん

研修概要:職場研修 研修参加人数:20名 貸出期間:12日間

子どもとの接面を築いていく大切さ、難しさを痛感しました。竹馬の練習を例にあげられ、子どもの心の負の動きにもどのように対応するべきだったか分かりやすく述べられていたと思います。自己の経験に照らし合わせて考えさせられることが多々ありました。

貸出ビデオ名:平成30年度実施研修「0・1・2歳児のココロを読みとく保育のまなざし」講師:井桁 容子さん

研修概要:職場研修 研修参加人数:14名 貸出期間:30日間

子どもの見方、接し方など自分の保育を見つめなおすことが出来ました。一人ひとりの子どもを大切に、子どもの姿を見て、勝手に危ないなど決め付けず、保育士は子どもの自主性ややってみようとする思いに寄り添い、様子を見守り、そこから何を学んでいるのかを見る目が必要だと感じました。研修になかなか行けない職員にすると、今回のようにDVDを作って頂くことができると園内研修ができてとても助かります。



子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
[京都はぐくみ憲章]より

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！



発行日 平成31年2月21日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町601-1
Tel (075)254-5001 Fax (075)212-9909
URL <http://www.kodomomirai.or.jp>